

あすぴあ登録団体中、取材希望のあった団体を訪ねて活動を紹介します。

## 小平図書館友の会

友達の家に行くように図書館をよく利用している、本が大好きな人が集まってつくれた会です。会員が約150人もいて、活動は本を読むだけではおさまらず、朗読する、散策する、学習する、発信する、交流する、社会貢献する等、実に多様に、だれもが楽しめるものになっています。

11月18日午後、小平駅近くのシラヤアートスペースでは「2011年・晩秋を飾る(第5回)ことばの玉手箱」と題するイベントが行われていました。3人の女性が中村夏子さんのピアノと共に2時間にわたって順に本を朗読。このイベントも、小平図書館友の会の活動の一つです。



「ただ声に出して本を読むだけではつまらない。目標を持ってやってみよう!」ということから始まったのですが、聞いてもらう人に喜んでもらえた、気持ちが伝わったと感じると、またやりたくなって、今年で3年目になります」と、声に出して本を読む会のリーダー 雑崎亮平さんはおっしゃいます。

読書サークル・小平、YAを楽しむ会、文学散歩・歴史散策の会、障がい者サービス学習会もあります。図書館について学ぶ会では、これからの図書館に求められる課題解決型サービスについて勉強しているそうです。その成果は図書館職員との利用者懇談会で提案や意見として発表する機会があります。こうしたグループは会員であれば自由につくれますし、参加者に制限はありません。だれもが興味のあることを仲間と共に楽しめるようになっていきます。

YA/ヤング・アダルト  
=若い人が読む本



朗読の様子(上)と野川  
周辺文学散歩(下)

### DATA

【第14回古本市】  
2012年3月24、25日、小平市中央公民館ギャラリーで開催します。市民のみなさんが持ってこられた本を販売して、その収益金で図書館に必要な備品を買って小平市の図書館に寄贈しています  
●会報を年2回、情報いっぱいの交流紙「らいぶらりーふれんず・こだいら」を毎月発行しています。  
申込み・問合せ●090-1707-0860(伊藤)  
住所●小平市小川東町2-13-4-203  
メール●sakiitou@ebony.plala.or.jp  
ファクシミリ●042-345-7660

## 政治・知りたい、確かめ隊

もっと小平のことを知りたい、もっと住みやすいまちになったらいいな…。そんな思いで小平市議会を傍聴しているという、政治・知りたい、確かめ隊。代表の森野やよいさんにお話をうかがいました。



「知りたい、議会のこと」  
第5回の様子

2002年の中央公民館主催講座「女性のための政治学」から生まれたという、政治・知りたい、確かめ隊。年に4回発行している傍聴だより『議会ウォッチング』をしてみました。すでに34号を数えています。

「議会で話し合われた内容や、実際にメンバーが見聞きした意見や感想を載せています」と森野さん。コンパクトにまとめられていて、気軽に読めてとても分かりやすいです。

また、8月～11月には5回シリーズの小平市公民館市民学習奨励学級「知りたい、議会のこと」を主催し、市民が議会について無料で学べる場を提供しました。その他にも、議員を招いての意見交換会や、議会や市政について気軽に語り合うコミュニティサロンを定期的に開催しています。さらに来年は、「議会基本条例の学習会も開催したい」とも。

「道路のことや商店街のことなど、議会で話し合われているのは身近なことばかり」とのこと。気負わず、まずは傍聴から参加してみたいと思いました。



仲町公民館で行われた成果発表会で活動内容を紹介します

### DATA

定例会●毎月火曜日 10:00～12:00 ※不定期  
(12月は休み。次回2012年1月11日(水)開催予定)  
場所●仲町公民館ほか  
会費●正会員500円(月額)、購読会員1000円(年額)  
電話&ファクシミリ●042-315-0917(事務局:森野)  
メール●seijishiritai@gmail.com  
ホームページ●http://www.kodaira-net.jp/seijishiritai/

# 市民活動支援公募事業

※市民活動支援公募事業とは…市内で活動する市民活動団体が自ら企画して実施する公益的な事業に対して、市が事業に要する費用の2分の1(最高30万円)を補助する事業。

## シングルマザー＆ファザーと子どもたちのためのワークキャンプ ～自分を信じて生きる～

主催:小平市ひとり親連絡会  
11月5日(土)～6日(日)

インディアンのスピリッツを取り入れたアウトドア環境教育を行う松木正さん(from神戸)を招き、飯能市の民宿・笑美亭を拠点にキャンプは行われた。参加者は大人21、子ども16、協力スタッフ6の計43人。オープニングでは太鼓に合わせてインディアンの歌を歌う。ワークは全員が協力する「遊び」になっていて、キャンプネームで呼び合いながら大人も子どもも夢中で遊んだ。ナイトハイクでは静けさを破って鹿の鳴き声が響くのを聞いた。



ロープに髪の毛一本触れず全員がぐり抜ける「くもの巣ワーク」。誰かが向こう側へ抜けるたびに全員で喜び合う

## 防災 バンザイ!! (サバイバル飯炊きと防災講座)

主催: NPO法人こだいら自由遊びの会  
11月20日(日)午前10時～午後5時  
小平市子どもキャンプ場、きつねっばら公園

サバイバル飯炊きの屋敷もそこそこに、子どもたちは走りまわって遊んでいました。人気の遊びはチャンバラ。あててあてられて加減を感じるのだそうです。防災講座の講師、あんどろうりすさんが到着し、阪神淡路大震災の体験とアウトドア生活からの助言にみんなで耳を傾けました。アウトドア用品は防災グッズにもなること、災害時に一番役に立つのは自分であること、役立つ自分になるには幼少時からの外遊びが大事だというお話でした。



食後の大人たちが馬跳びや大縄跳びを始めて、子どもたちも加わり、どの顔も幸せそうでした

## 身近な再生可能エネルギー ～菜の花・ヒマワリ・BDF～

主催:こだいら菜の花プロジェクト  
11月19日(土)午後1時半～4時半  
小平市中央公民館

こだいら菜の花プロジェクトは市内の低利用農地に育てた菜の花から油をとり、食用後の油はBDFにして油粕は畑にすきこむという、資源を地域で循環させる活動をしています。同じように資源の地域循環に注目しているお二人の講演がありました。

廃食油リサイクル会社の3代目染谷ゆみさんは、家庭などから回収した天ぷら油をディーゼル燃料(BDF、VDF)に変えています。米川智司さんは、東大農場で持続可能な農業の研究をしています。米川さんはキーワードは多様性と選択であり、短絡的に結論を出さない方がいい、と話しました。



「天ぷら油で車が走るなんて一おもしろいでしょ」と染谷さん(左)。市民といっしょに東大農場を守る活動もしている米川さん(右)

## 第7回少子高齢化社会対応市民フォーラム シニアの新しい地域参加を目指して

主催: NPO法人ふれあいアカデミー  
12月3日(土)午後1時半～4時  
中央公民館ホール

基調講演で桜美林大学名誉教授・瀬沼克彰さんは、リタイア後の生き方として、就労でなく「自己雇用」を勧められました。ハローワークに行くのではなく、ちょっと勇気を出して、自分の好きなことを楽しみながら収入も得られる活動にして、仲間を見つけて始めてみよう、と話されました。これからの時代を見据えた言葉に参加者は思わずうなずいていました。



小学校5、6年生の頃の自分を思い出すと、好きなことが見つかるそうです